

# ステート・ストリート債券タームスプレッド・プレミア戦略オープン

月次運用報告書

追加型投信／内外／その他資産／特殊型

2021年10月29日

[商品概要]

設定日：2018年9月20日 信託期間：無期限

設定・運用：

決算日：6月20日（休業日の場合は翌営業日）

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

基準価額	9,456円
純資産総額	1,300百万円
投資受益証券比率	99.8%

分配実績（税引前、1万口当たり）

決算期	分配金	設定来累計
第1期（2019年6月20日）	0円	
第2期（2020年6月22日）	0円	
第3期（2021年6月21日）	0円	
-	-	0円
-	-	

設定来の基準価額（税引前分配金込）の推移

2021年10月29日現在



※基準価額（税引前分配金再投資）は、信託報酬（後述の「ファンドにかかる手数料について」参照）控除後の値です。

※参考指数は、日本円短期金利（無担保コール翌日物）で、ファンド設定日を10,000として換算し直しています。

基準価額騰落率（税引前分配金再投資）

	ファンド	参考指数	差
1ヶ月	-1.41%	0.00%	-1.41%
3ヶ月	-2.12%	-0.01%	-2.12%
6ヶ月	-0.13%	-0.01%	-0.11%
1年	-4.36%	-0.02%	-4.34%
3年	-5.96%	-0.12%	-5.84%
設定来	-5.44%	-0.12%	-5.32%

※当ファンドの決算時に分配金があった場合に、その税引前分配金で当ファンドを購入（再投資）したとして計算した騰落率です。

<商品の特色>

◆投資目的

主として主要先進国の10年国債先物のロング／ショート・ポジションによる収益獲得を目指す投資対象ファンドへの投資を通じて、中長期的に安定的な投資成果の獲得を目指して運用を行います。

◆投資対象

主要先進国における長短金利差（タームプレミアム）に基づくファクター・プレミアムの確保を目指す国内投資信託「債券タームスプレッド・プレミア戦略ファンド〈適格機関投資家限定〉」を主要投資対象とし、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

<投資受益証券 投資行動>

● 9月末前後と10月末前後に、ランキングに応じて決定された国別配分投資比率に従って、月次リバランスを実施しました。

● 推定アクティブリスクは2%～4%程度で推移しています。

● 国別配分の目標アクティブ・ポジションは、10月中はカーブ形状から豪、米、カナダの魅力が高く評価し、独や英はフラットなカーブ形状から魅力を低く評価しています。日本は日銀による長短金利操作を実施しているため、長期的にカーブ形状の魅力が低い状況が続くと想定されます。

2019年 12月中	-	ロング：仏/豪/独	-	ショート：カナダ/日/米
2020年 2月中	-	ロング：仏/豪/独	-	ショート：カナダ/日/英
3月中	-	ロング：仏/豪/米	-	ショート：カナダ/日/英
4月中	-	ロング：仏/豪/米	-	ショート：日/独/豪/英
5月中	-	ロング：仏/豪/米	-	ショート：日/独/豪/カナダ
7月中	-	ロング：仏/豪/米	-	ショート：日/独/豪/カナダ
8月中	-	ロング：仏/豪/米	-	ショート：日/独/豪/カナダ
9月中	-	ロング：仏/豪/米	-	ショート：日/独/豪/カナダ
10月中	-	ロング：仏/豪/米	-	ショート：日/独/豪/英
11月中	-	ロング：米/豪/カナダ	-	ショート：日/独/豪/英
12月中	-	ロング：米/豪/カナダ	-	ショート：日/独/豪/英
2021年 2月中	-	ロング：米/豪/カナダ	-	ショート：日/独/豪/英
7月中	-	ロング：米/豪/カナダ	-	ショート：日/独/豪/英
10月中	-	ロング：豪/米/カナダ	-	ショート：日/独/豪/英

<主要各国の市場概況>

● 世界の債券市場は、月を通して債券利回りが上昇しました。米債務上限問題に対する懸念や資源価格の上昇を受けたインフレに対する警戒感が、米国の債券利回りの上昇材料となりました。欧州や英国ではインフレ懸念を受けて早期利上げ期待が高まったことが、ドイツとフランス、英国の債券利回り上昇材料となりました。また、金融政策の正常化が進むカナダの債券利回りも上昇しました。豪国では3年国債の利回りを0.10%程度の目標水準に抑える対応（イールドカーブ・コントロール）を見送ったことなどを背景に、債券利回りが急上昇しました。日本では日銀による強固なイールドカーブ・コントロール維持を背景に債券利回りの動きは抑制されました。

<ファンド収益>

● ファンド収益は約1.4%のマイナスとなりました。債券利回りの上昇幅が相対的に拡大した豪国債のロングがマイナスに寄与しました。

<今後>

● 今後も各国長短金利差のランキングに基づき、国別配分を戦略的に管理していきます。

債券タームスプレッド・プレミア戦略ファンド〈適格機関投資家限定〉 組入状況

各国別の配分比率

投資国	比率
米国	29.7%
豪国	40.5%
カナダ	30.0%
英国	-32.2%
ドイツ	-31.6%
日本	-41.0%
ロング計	100.2%
ショート計	104.7%
合計（グロス）	204.9%
合計（ネット）	-4.5%

特性値

	ファンド
修正デュレーション	0.39
推定アクティブリスク	3.0%

※比率は投資受益証券の純資産総額対比です。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

# ステート・ストリート債券タームスプレッド・プレミア戦略オープン

追加型／内外／その他資産(債券先物)／特殊型(ロング・ショート型／絶対収益追求型)

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## ファンドの目的・特色

主として主要先進国の10年国債先物のロング／ショート・ポジションによる収益獲得を目指す投資対象ファンドへの投資を通じて、中長期的に安定的な投資成果の獲得を目指して運用を行います。

主要先進国における長短金利差(タームプレミアム)に基づくファクター・プレミアムの確保を目指す国内投資信託「債券タームスプレッド・プレミア戦略ファンド<適格機関投資家限定>」を主要投資対象とし、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

- 日本円短期金利(無担保コール翌日物)を上回る運用を目指します。
- 「債券タームスプレッド・プレミア戦略ファンド<適格機関投資家限定>」の組入比率は原則として高位を維持し、「短期国債ファンド VA<適格機関投資家限定>」の組入れも行います。
- 「債券タームスプレッド・プレミア戦略ファンド<適格機関投資家限定>」において、以下のような運用を行います。
  - 主要先進国の長短金利差(タームプレミアム)に基づくファクター・プレミアムを確保するために、定量的・システマティックなプロセスを通じて、対象国に上場されている10年国債先物取引を活用してロング／ショート・ポジションを構築します。
  - 原則として、日本、米国、英国、ドイツ、フランス、カナダ、オーストラリア、および、スウェーデンの8ヶ国に上場される10年国債先物取引を取引対象としますが、市場流動性等を勘案して一部の国を除外する場合や対象国を変更する場合があります。
  - 対象国における長短金利差(タームプレミアム)の格差に着目し、長短金利差のランキングに従い、上位国の10年国債先物取引のロング(買い建て)、および、下位国の10年国債先物取引のショート(売り建て)を行います。
  - ロング(買い建て)、および、ショート(売り建て)の実質的なポジションは、それぞれ原則として信託財産の純資産総額の100%相当額とします。
  - 組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行います。

## 投資リスク

当ファンドは、主に投資対象ファンドへの投資を通じて、実質的に主要先進国の10年国債先物に投資を行います。主として以下に掲げる要因等により基準価額が大きく変動する場合があります。その運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

なお、投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドの主なリスク、および、留意点は以下のとおりですが、当ファンドのリスク、および、留意点を完全に網羅しておりませんのでご注意ください。また、ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

### <基準価額の主な変動要因>

#### 買い建て・売り建てポジションを構築する戦略のリスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、定量的なプロセスを通じて、主要先進国の上場債券先物のロング(買い建て)とショート(売り建て)のポジションを構築する戦略により投資収益を追求しますが、当戦略がその目的を達成できる保証はありません。

買い建てた先物の価格が、売り建てた先物の価格より値下がりがりした場合、もしくは、売り建てた先物の価格が買い建てた先物の価格より値上がりした場合等には損失が発生し、それに伴い、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。また、各国債券先物の連動性は高いと想定されるものの、買い建てた先物が値下がりがり、売り建てた先物が値上がりする等、逆の動きにより双方で損失が出る場合には、基準価額の下落が大きく拡大する可能性があります。

#### デリバティブ取引のリスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、主に主要先進国の上場債券先物に投資を行ない、それに伴って発生した為替リスクを店頭取引である為替先渡取引を用いてヘッジします。債券先物や為替先渡取引等デリバティブ取引は、投資目的を効率的に達成するために用いられ、または価格変動の影響を回避する目的で用いられませんが、その取引にはコストとリスクが伴い、その目的が達成される保証はありません。

デリバティブ取引は、一般的に小額の証拠金・担保金等を差入れることで、より大きな金額の取引を行ないません。当ファンドの主要投資対象ファンドでは、原則として、債券先物のロングとショートのポジションをそれぞれファンド純資産総額の100%程度構築して維持します。それにより、いわゆるレバレッジがかかることにより、市場価格の変動が増幅されて大きな影響を被る可能性があります。

また、デリバティブ取引の相手方が破綻するなどして、契約が履行されずに損失を被るリスクがあります。このような事態が生じた場合には当ファンドの運用成果に影響を与えます。

#### 債券投資のリスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、主に主要先進国の上場債券先物に投資を行ないません。債券先物の価格は、世界各国の金融・財政政策、経済政治動向や各国市場動向等に応じて変動し、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

当ファンドで債券先物を買って建てた国の金利が上昇すれば、先物価格が下落し、損失が発生する場合があります。また、売り建てた国の金利が低

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

# ステート・ストリート債券タームスプレッド・プレミア戦略オープン

追加型／内外／その他資産(債券先物)／特殊型(ロング・ショート型／絶対収益追求型)

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

下すれば、先物価格が上昇し、損失が発生する場合があります。

当ファンドの運用戦略は、買い建てた先物価格が売り建てた先物価格より相対的に上昇、または、下落幅が少ないことにより中長期的観点から収益獲得を目指しますが、金利の変動により基準価額が大きく下落する可能性があります。

また、債券先物の原資産である国債を発行する国の財務状況により、債務不履行や流動性逼迫に対する懸念等が高まり、先物価格が大きく下落する場合があります。そのような国の債券先物を買って建てていた場合には、基準価額の下落が拡大する可能性があります。

## 為替変動リスク

当ファンドの主要投資対象ファンドにおいて為替ヘッジを行いますが、為替変動による影響を完全に回避することはできません。また、為替先渡取引を行う通貨間の金利差等により、為替ヘッジコストがかかる場合があります。

## その他留意点

- ◆当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ◆預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
- ◆取得のお申込の際は、最新の契約締結前交付書面(目論見書・目論見書補完書面)を事前にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## ファンドにかかる手数料について

- ◆申込手数料…ありません。
- ◆換金(解約)手数料…ありません。
- ◆信託報酬…ファンド純資産総額に以下の年率を乗じて得た額とします。

50億円以下の部分:	年率 0.5005% (税抜 0.455%)
50億円超 100億円以下の部分:	年率 0.4455% (税抜 0.405%)
100億円超の部分:	年率 0.3355% (税抜 0.305%)

(注)組入れファンドにおいて、別途、運用報酬等として純資産総額に対し年率 0.0605% (税抜 0.055%) を乗じて得た額が控除されます。実質的な信託報酬は合計で 50億円以下の部分は年率 0.561%、50億円超 100億円以下の部分は年率 0.506%、100億円超の部分は年率 0.396% になります。

- ◆信託財産留保額…ありません。
- ◆監査費用…ファンド純資産総額に年 0.011% (税抜年 0.01%) を乗じて得た額とします。
- ◆その他の費用・手数料…信託事務の処理等に要する諸費用、有価証券等売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の費用等がファンドから支払われます。これらは、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間に応じて異なりますので、表示することは出来ません。

## 収益分配金に関する留意事項

- ◆分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ◆分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

# ステート・ストリート債券タームスプレッド・プレミア戦略オープン

追加型／内外／その他資産(債券先物)／特殊型(ロング・ショート型／絶対収益追求型)

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## 【販売会社】

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 195 号	○	—	○	○	○

※ 販売会社は今後変更となる可能性があります。

## 【受託会社】

受託会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第 649 号	○	—	○	○	—
(再信託先:株式会社日本カストディ銀行)	(登録金融機関) (関東財務局長(登金)第 602 号)	(○)	(—)	(—)	(—)	(—)

## 【委託会社】

委託会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 345 号	○	○	○	—	—

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。